



トラブルシューティング : Cisco MeetingPlace Web Conferencing

この章では、Release 5.3 をインストール、設定、および使用する場合に発生する可能性のある一般的な問題のトラブルシューティング方法について説明します。

この章は、次の項で構成されています。

- [Cisco MeetingPlace Web Conferencing のインストールに関する問題 \(P.9-2\)](#)
- [Cisco MeetingPlace Web 会議サーバの接続に関する問題 \(P.9-3\)](#)
- [ディスク領域に関する問題 : DC-MeetingServer ファイルの説明 \(P.9-4\)](#)
- [ユーザが Cisco MeetingPlace の Web 会議からドロップされる問題 \(P.9-6\)](#)
- [だれも会議に参加できない場合の対処方法 \(P.9-8\)](#)
- [共有ドキュメントの表示に関する問題 \(P.9-13\)](#)
- [Web 会議の主権に関する問題 \(P.9-14\)](#)
- [プレゼンテーション スライドに関する問題 \(P.9-14\)](#)
- [アプリケーション共有モードでのコラボレーションに関する問題 \(P.9-15\)](#)
- [添付と記録に関する問題 \(P.9-16\)](#)
- [他のファイル添付に関する問題 \(P.9-18\)](#)
- [Windows Media Server に関する問題 \(P.9-18\)](#)
- [WebConnect に関する問題 \(P.9-19\)](#)
- [セキュリティ警告ウィンドウについて \(P.9-20\)](#)
- [Microsoft システムのアップデートまたはパッチと Cisco MCS について \(P.9-22\)](#)
- [Microsoft Internet Explorer での Java に関する問題 \(P.9-26\)](#)
- [Netscape Navigator での Java に関する問題 \(P.9-27\)](#)

Cisco MeetingPlace Web Conferencing のインストールに関する問題

Web 会議サーバが正常に動作しない場合は、次のトラブルシューティング手順を試します。

1. Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスを再起動します。詳細については、P.4-7 の「すべての Cisco MeetingPlace Web Conferencing サービスの停止と再起動」を参照してください。
2. それでもサーバが正常に動作しない場合は、サーバをリブートします。
3. それでもサーバが正常に動作しない場合は、Release 5.3 のインストーラを修復モードで再び実行します。
4. それでもサーバが正常に動作しない場合は、次のインストール ログを収集し、シスコのサポート担当者にお問い合わせます。Release 5.3 のインストール ログは、C:\WINNT\にあります。
 - mpwebstp.log
 - mpwebstp-jvm.log
 - mpwebstp-sql.log
 - mpwebstp-sqlsp3.log

追加のサポートを受ける方法

Windows サービスに問題がある場合、または Web 会議サーバが接続を失った場合は、できる限り早く <drive>\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\datasvc ディレクトリに移動して dcdiags.bat を実行し、サーバ ログを生成します。診断情報はすべて、\Cisco Systems\MPWeb\Diagnostics に格納されます。

これらのファイルを圧縮し、開始時刻、接続が失われた時刻、ブラウザのバージョンなどの情報と共にシスコのサポート担当者へ送付して、追加のサポートを受けてください。

Cisco MeetingPlace Web 会議サーバの接続に関する問題

Web 会議サーバは、[Web Server Properties] 管理ページに設定されているホスト名を使用して、自身に接続できる必要があります。このホスト名は、P.3-11 の「Cisco MeetingPlace Web 会議サーバの定義」で Web 会議サーバを定義したときに設定したホスト名です。このホスト名は、エンドユーザがこの Web 会議サーバに接続するときにも使用されます。

接続の問題は、多くの場合、ファイアウォール関連の設定が原因で発生します。問題を解決する手順は、次のとおりです。

HTTP の接続問題の解決

次の例では、Web 会議サーバのホスト名が *hostname.domain.com* であると想定しています。

ステップ 1 Web 会議サーバから、Web ブラウザを使用して *http://hostname.domain.com* に接続します。

ステップ 2 エラーメッセージが表示される場合は、C:\WINNT\System32\drivers\etc\hosts ファイルに次の行を追加します。

127.0.0.1 hostname.domain.com

必ず、*hostname.domain.com* を Web 会議サーバの実際の Fully Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) に置き換えてください。

ステップ 3 *http://hostname.domain.com* に再び接続します。

HTTPS の接続問題の解決

Web 会議サーバが HTTPS トラフィックだけを許可する場合は、次の手順を実行します。次の例では、Web 会議サーバのホスト名が *hostname.domain.com* であると想定しています。

ステップ 1 Web 会議サーバから、Web ブラウザを使用して *https://hostname.domain.com* に接続します。

ステップ 2 セキュリティ警告のダイアログボックスが表示されたら、このようなダイアログボックスが表示されないように SSL を設定します。詳細については、Microsoft の Web サイトで Microsoft Knowledge Base Article の 813618 および 257873 を参照してください。

ディスク領域に関する問題 : DC-MeetingServer ファイルの説明

Cisco MeetingPlace Conferencing Gateway (会議ゲートウェイ)、MCS Service、または GCC Service がクラッシュすると、Release 5.3 により、dc-meetingserver*.txt というクラッシュ ログが生成されます。このログは、2 GB を超えることがあります。複数のクラッシュが発生した場合は、複数のテキストファイルが存在します。クラッシュごとに、クラッシュした時刻のタイムスタンプの dc-meetingserver-timestamp.txt ファイルがあります。

このファイルは、通常、C:\WINNT にあり、その後 <drive>\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Diagnostics にコピーされます。dcdiags.bat を実行するたびに、このファイルが表示されます。

追加の DC-MeetingServer ファイルの削除

dc-meetingserver*.txt クラッシュ ログの追加のコピー ファイルをなくすには、\mpweb\diagnostics ディレクトリにコピーされるのではなく、このディレクトリに直接書き込まれるように変更します。

diagnostic.bat は、ファイルを新しいファイルに置き換える前に、診断ディレクトリ内のファイルのバックアップ コピーを作成します。領域について心配である場合は、<drive>\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Diagnostic\Old 内のファイルも削除します。

ディスク領域のエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ [1228] Operation Failed. Currently on Web Server X, SQLServer Loadtest, MPServer Y.

エラー メッセージ The log file for database MPWEB is full. Back up the transaction log for the database to free up some log space.

Web 会議サーバで最初のエラー メッセージが表示され、[Eventlog] ウィンドウに 2 番目のエラー メッセージが表示される場合は、SQL データベース ファイルが大きすぎて、ユーザが Cisco MeetingPlace Web Conferencing にサインインできない可能性があります。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 SQL Enterprise Manager で、データベースの [Properties] ページを選択し、[Options] > [Auto Shrink] を選択します。
 - ステップ 2 このオプションを有効にするには、データベース リカバリ モデルを [Simple] に設定するか、ログのバックアップを実行します。SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE) を使用している場合は、デフォルトでこのオプションが選択されています。
-

SQL Server のエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ This SQL Server has been optimized for 5 concurrent queries. This limit has been exceeded by 1 query and performance may be adversely affected.

Release 5.3 で SQL Server 2000 Desktop Engine (MSDE) を使用している場合は、Windows Event Viewer のアプリケーション ログに上記のエラー メッセージが表示されることがあります。表示された場合は、SQL Server 2000 Service Pack 3a にアップグレードします。

エラー メッセージ Error -2147221297 [Microsoft] [ODBC SQL Server Driver] [SQL Server] InvalidColumn Name 'Timestamp' "

Release 5.3 のインストール中に上記のエラー メッセージが表示され、SQL Server 上のデータベースに接続できない場合は、大文字と小文字を区別する SQL Server が原因で接続の問題が発生している可能性があります。この問題を解決するには、大文字と小文字を区別しない SQL Server でインストールを実行します。

ユーザーが Cisco MeetingPlace の Web 会議からドロップされる問題

Web 会議からドロップされたという報告を 1 人または複数のユーザーから受けた場合は、数人の参加者だけがドロップされたのか、Web 会議内のすべての参加者がドロップされたのかを確認してから、次の項を読んでください。

数人のユーザーだけがドロップされる場合の対処方法

数人のユーザーだけが Web 会議からドロップされ、残りのユーザーは接続を保持している場合は、接続を失ったユーザーに、会議コンソール ウィンドウを閉じて Web 会議に再び参加するよう依頼します。

それでも問題が解決されない場合は、次のチェックを行います。

- ユーザーの Web ブラウザがサポートされていることを確認します。サポートされている Web ブラウザのリストについては、『[Release Notes for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3](#)』の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing End-User Requirements」の項を参照してください。
- ユーザーの Web ブラウザで Java が有効であること、およびマシンに Java Runtime Environment (JRE) 1.4.2 がインストールされていることを確認します。
- 参加者がリモート アクセス サービス (Shiva など) を使用して企業の LAN に接続していた場合は、参加者が無活動タイムアウトによって Web 会議サーバから接続解除されていないか確認します。無活動タイムアウトを避けるには、ユーザーが定期的にキーボード コマンドまたはマウス ボタン コマンドを発行する必要があります。マウスの移動はアクティビティとして登録されていません。
- Virtual Private Network (VPN; バーチャル プライベート ネットワーク) 経由でアクセスしている場合は、セキュリティ ポリシーが無効であることを確認します。
- ユーザーが Release 5.3 のゲートウェイに ping を実行できることを確認します。

すべてのユーザーがドロップされる場合の対処方法

Web 会議内のすべてのユーザーがドロップされた場合は、次の原因が考えられます。

- すべての参加者が音声会議から退席し、Cisco MeetingPlace の Disconnect Empty Port Timer により会議全体 (Web 会議を含む) が終了した。
- 会議のスケジュール担当者またはホストが会議を終了した。

会議参加者がまだ音声会議内に存在し、会議のホストが共有を停止していない場合は、Web 会議サーバでエラーが発生した可能性があります。この場合は、Web 会議サーバが正常に機能しているかどうか確認します。

Web 会議サーバが正常に機能しているかどうかの確認

-
- ステップ 1 Web 会議サーバで、Windows の [Services] コントロール パネルを開き、Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service が動作していることを確認します。
 - ステップ 2 Windows Event Viewer のアプリケーション ログで、Web 会議サーバに関連するエラーがないか確認します。
 - ステップ 3 Release 5.3 のイベント ログで、Web 会議サーバに関連するメッセージがないか確認します。

ステップ 4 重大な問題があれば、シスコのサポート担当者に報告します。

ユーザがドロップされ続ける場合の対処方法

ユーザが Web 会議から接続解除され続ける (Web 会議に再接続された数分後に再び接続解除される) 場合は、次の原因が考えられます。

- ネットワークの帯域幅が狭すぎて、この時点でユーザが参加できない。ユーザがダイヤルアップ接続しているか、ネットワークが輻輳しています。バックグラウンドで、追加の帯域幅を消費する他のアプリケーション (ストリーミング、電子メールの同期化など) が動作している場合は、Web 会議中はその動作を停止してください。
- ユーザが、Java アプレットをブロックするプロキシ サーバに接続されている。プロキシ サーバが Java アプレットをブロックしないことを確認してください。プロキシ サーバの要件については、P.3-3 の「(オプション) プロキシ サーバの設定」を参照してください。
- ユーザが、長いタイムアウト遅延でプロキシ サーバに接続されている。プロキシ サーバのタイムアウト設定が 5 分より長くなるように接続を変更してください。これが許可されていない場合は、プロキシ サーバと Cisco MeetingPlace システムの設定方法について、シスコのサポート担当者に問い合わせてください。

だれも会議に参加できない場合の対処方法

だれも Web 会議に参加できない場合は、Web 会議サーバに関連する問題が発生している可能性があります。たとえば、Windows サービスがダウンしていることがあります。この問題のトラブルシューティングを行うには、次の手順を実行します。

1. Web 会議サーバ上で Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service が動作していることを確認します。このサービスの詳細については、P.4-7 の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service について」を参照してください。
2. Windows サービスに問題がある場合は、できる限り早く \Cisco Systems\MPWeb\datasvc ディレクトリに移動して dcdiags.bat を実行し、サーバログを生成します。
3. Release 5.3 の Eventlog で、Web 会議サーバに関連するメッセージがないか確認します。重大な問題があれば、シスコのサポート担当者に報告します。
4. Windows Event Viewer のアプリケーション ログで、Windows サーバに関連するエラーがないか確認します。

HTTP トンネリング ユーザと HTTPS ユーザだけが参加できない場合の対処方法

HTTP トンネリング ユーザと HTTPS ユーザだけが影響を受ける場合は、Jenga が正しくインストールされていない可能性があります。Jenga は、トンネリング ユーザと HTTPS ユーザに使用される servlet エンジンです。

-
- ステップ 1** Jenga をチェックするには、`http://hostname/servlet/JengaTest` に移動します。
- ステップ 2** チェックに失敗した場合は、\MPWeb\Scripts から `inst.bat` を実行して、Jenga を再インストールします。
- ステップ 3** Jenga を再インストールした後、再び `http://hostname/servlet/JengaTest` に移動して、Jenga が正常にインストールされていることを確認します。
-

数人のユーザだけが参加できない場合の対処方法

Web 会議に参加できるユーザと参加できないユーザがいる場合は、参加できないユーザについて次の点を確認します。

- ネットワークに接続されていること（つまり、ユーザがスイッチまたはハブ経由で接続されていること）
- インターネットにアクセスできること

ユーザがネットワークに接続されており、かつインターネットにアクセスできる場合は、次のチェックを行います。

- ユーザの Cisco MeetingPlace Web Conferencing の [会議の情報] ページに [接続] ボタンが表示されることを確認します。
- ユーザがネットワークまたはダイヤルアップ接続のどちらを経由して Web 会議に参加しているかを調べます。ユーザがダイヤルアップ接続で参加している場合は、接続が遅すぎるために Web 会議サーバがユーザを接続解除している可能性があります。
- 外部ユーザが Web 会議に参加できない場合は、Web 会議サーバのホスト名が正しく設定されていない可能性があります。P.3-11 の「Cisco MeetingPlace Web 会議サーバの定義」の手順を実行したことを確認してください。

- 外部ユーザがプロキシサーバ経由で Release 5.3 にアクセスしている場合は、プロキシサーバが Web 会議へのアクセスを許可しないように設定されている可能性があります。プロキシサーバの要件については、P.3-3 の「(オプション) プロキシサーバの設定」を参照してください。
外部ユーザが HTTPS 接続を使用して Web 会議に参加できるように、Secure Socket Layer (SSL) を使用するよう Web 会議サーバを設定することが必要な場合もあります。プロキシサーバの背後にいる外部ユーザも、Web 会議に参加する必要があります。SSL の設定の詳細については、P.5-4 の「Secure Socket Layer について」を参照してください。
- ユーザが MeetingTime から参加している場合は、MeetingTime に Web 会議サーバの正しい IP アドレスが設定されていること、および MeetingTime が Web 会議サーバをアクティブとみなしていることを確認します。詳細については、P.9-9 の「Cisco MeetingPlace MeetingTime に正しい Cisco MeetingPlace Web Conferencing 情報が設定されていることの確認」を参照してください。

Cisco MeetingPlace MeetingTime に正しい Cisco MeetingPlace Web Conferencing 情報が設定されていることの確認

ステップ 1 MeetingTime にログインします。

ステップ 2 [Configure] タブで、[Usage Parameters] トピックを選択し、[Data Meetings] セクションまでスクロールします。

ステップ 3 [Data Meetings] セクションで、次のパラメータが正しく設定されていることを確認します。

パラメータ	設定
Data Mtg IP Address	Web 会議サーバの正しい IP アドレス。
Web Conference Active	Yes

どちらかのパラメータが間違っていた場合は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service を再起動します。MeetingTime が正しい情報でアップデートされます。



注意

Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service を再起動すると、すべての Web 会議セッションが終了します。

会議コンソールが 1% で停止する場合の対処方法

同期されていない IP アドレスが原因で、会議コンソールのロードが 1% で停止するという問題がまれに発生します。何らかの理由で Web 会議サーバの IP アドレスが変更された場合、そのアドレスはデータベース内で自動的にアップデートされません。この問題を解決するには、osql または SQL Query Analyzer を使用して、手動によりデータベースを新しい IP アドレスでアップデートします。

MPAgent のエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ MPAgent is not available, please try again later.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、Cisco MeetingPlace Agent Service (エージェント サービス) がダウンしているか、応答していません。この問題を解決するには、Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service を停止して再起動します。

Web 会議セッションのエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ Session is stale

Release 5.3 では、接続されている各ユーザーに関するセッション情報が保持されます。プロファイルの変更、会議のスケジュール、またはスレッドでの作業のために Release 5.3 にアクセスすると、セッションが開始されます。セッションは、アクティブな Cisco MeetingPlace Web 会議と同じではありません。セッションの情報は、最後のセッションから最小 1 時間、最大 24 時間保持されます。

次の原因でセッションが期限切れになることがあります。

- 当初使用していた場所とは異なる場所から Cisco MeetingPlace Web Conferencing にサインインすると、最初のブラウザの接続が解除されます。その後最初のブラウザに戻ると、セッションが期限切れであると通知されます。
- Cisco MeetingPlace Web Conferencing にサインインしたが、1 時間以上セッションに参加しないと、新しいユーザーに領域を解放するために Release 5.3 によって接続解除され、セッションが期限切れであると通知されます。
- すでに Cisco MeetingPlace Web Conferencing から Web 会議にサインインしているにもかかわらず Cisco MeetingPlace for IP Phones にサインインすると、セッションが期限切れであるというメッセージが表示されます。これは、Cisco MeetingPlace for IP Phones が Web 会議に使用されているものと同じ Web 会議サーバを使用している場合に起こります。現在の音声および Web 会議は中断されませんが、使用するインターフェイスに再びログインする必要があります。

この最後の問題に対処するには、Web 会議用の Release 5.3 を別の Cisco MCS マシンにインストールします。

エラー メッセージ Your session has expired. You will need to login again.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、ブラウザでコンテンツ アドバイザが有効になっている可能性があります。Release 5.3 では、コンテンツ アドバイザがサポートされていません。コンテンツ アドバイザが有効である場合は、次のようになります。

1. ユーザーが Cisco MeetingPlace Web Conferencing にアクセスしようとする時、[コンテンツ アドバイザ] ウィンドウが表示されます。
2. ユーザーが [この Web サイトを常に表示する] をクリックしてオンにします。
3. その後、ユーザーがサインインし、[ユーザー情報を保存] をクリックしてオンにします。
4. ユーザーが [会議スケジュールの作成] や [会議に参加] などのオプション タブをクリックすると、エラー メッセージが表示されます。

コンテンツ アドバイザが無効であることを確認するには、ブラウザを開き、[ツール] > [インターネット オプション] > [コンテンツ] > [コンテンツ アドバイザ] を選択します。コンテンツ アドバイザが無効にして、Cisco MeetingPlace Web Conferencing のホーム ページに再びアクセスしてください。

会議のスケジュールに関連するエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ The meeting being scheduled is different than the one in Cisco MeetingPlace Web.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、Release 5.3 から応答がある前に [スケジュール] ボタンを2回クリックした可能性があります。この操作により、スケジュールされた会議と応答の間で遅延が生じます。再び会議のスケジュールを試みる前に、[会議の検索] タブを使用して、会議がスケジュールされたかどうか確認してください。

会議の検索問題の解決

今スケジュールした会議が見つからない場合は、ページを更新して、最新のデータを表示します。

会議の検索に関連するエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ Template cannot be found.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、エラー メッセージまたはエラー ページに示されているテンプレート ファイルが <drive>\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Template ディレクトリに存在することを確認します。

このテンプレートが存在する場合は、ディレクトリのアクセス権が Release 5.3 からテンプレート ファイルへのアクセスを許可するようにします。つまり、フル アクセス権を持つ Everyone グループを設定し、そのグループのメンバーを制限します。

テンプレートが \Template ディレクトリにない場合は、テンプレート ファイルを再インストールします。



注意

再インストールを実行すると、読み取り専用ではないカスタマイズ済みファイルはすべて上書きされます。

エラー メッセージ Guest profile is reserved for system use and cannot be used for current operation.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、Cisco MeetingPlace プロファイル ユーザだけが許可されるように会議がスケジュールされています。ゲストは許可されていません。

会議コンソールでアイコンがちらつく場合の対処方法

[参加者] タブでステータスの変更（ユーザの参加や退席、ミュートやミュート解除など）があった場合は、画面の「再描画」が必要となります。この「再描画」の速度は、次のような多くの要因に依存します。

- クライアント PC とそのビデオ カードのパフォーマンス
- ネットワークの帯域幅
- ネットワークの輻輳の程度
- 使用しているインターネット ブラウザ

これらの要因が結合して、「再描画」が遅くなり、エンドユーザに「ちらつき」として見えることがあります。

会議コンソールのロード中にカチッという音が聞こえる場合の対処方法

会議コンソールのロード中またはプレゼンテーションの更新中にユーザにカチッという音が聞こえることがあります。ユーザは、Control Panel からボリューム コントロールを調整することにより、この音をオフにすることができます。

会議コンソールが消える場合の対処方法

会議コンソールが表示されているときに、Microsoft Word または Outlook 内のリンクをクリックすると、会議コンソールが消えることがあります。これは、ウィンドウを再使用するようブラウザを設定していることが原因と考えられます。ウィンドウを再使用するようブラウザを設定していると、現在のウィンドウのコンテンツが、リンクによって起動されたコンテンツに置き換えられます。

この問題を解決するには、Web 会議中は他のアプリケーション内のリンクをクリックすることを避けるか、ウィンドウを再使用しないよう Internet Explorer を設定します。

ウィンドウを再使用しないための Internet Explorer の設定

-
- ステップ 1 Internet Explorer で、[ツール] > [インターネット オプション] > [詳細設定] を選択します。
 - ステップ 2 [ブラウズ] で、[ショートカットを起動するためにウィンドウを再使用する] をクリックしてオフにします。
 - ステップ 3 [適用] をクリックし、[OK] をクリックします。
-

共有ドキュメントの表示に関する問題

ユーザが共有ドキュメントを表示できない場合は、まず、ユーザのブラウザ ウィンドウに空白の灰色のウィンドウ、[ようこそ] ページ、または空白の青色のウィンドウのどれが表示されているかを調べます。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing に灰色のウィンドウが表示される場合の対処方法

ユーザの会議コンソールの Web コラボレーション ウィンドウが灰色である場合は、次の手順を実行します。

- ユーザの Web ブラウザで Java が有効であることを確認します。確認するには、[P.8-8](#) の「[Cisco MeetingPlace Web Conferencing のブラウザ テストについて](#)」に従ってブラウザ テストを実行します。
- Web 会議サーバ上で Cisco MeetingPlace Conferencing Gateway サービスがダウンしていないか確認します。ダウンしている場合は、Release 5.3 がインストールされている Cisco MCS からこのサービスを再起動します。これで問題が解決しない場合は、Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service を停止して再起動します。
- 会議コンソールの [ヘルプ] メニューで、**[診断ログの表示]** を選択し、ユーザの接続統計情報を表示します。ユーザがダイヤルアップ接続を使用している場合は、会議コンソール アプレットのダウンロードに使用できる時間を増やします。
- ユーザの Web ブラウザのキャッシュを空にします。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing に青色のウィンドウが表示される場合の対処方法

ユーザの会議コンソールの Web コラボレーション ウィンドウが青色である場合は、ユーザが誤って共有ドキュメントを画面の外に移動したか、ホストが共有していない可能性があります。Web コラボレーション ウィンドウをスクロールしてこのウィンドウの隅にある共有ドキュメントを探し、ウィンドウの中心にドラッグするようユーザに依頼してください。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing にようこそページが表示される場合の対処方法

Web コラボレーション ウィンドウに [ようこそ] ページが表示されるが、ユーザが共有ドキュメントを見ることができない場合は、会議コンソールの右下隅にある会議コンソールの接続状態アイコンを確認します。

2つのコンピュータ アイコンの間に緑色のチェックマークが表示されていない場合は、Release 5.3 から Web 会議サーバへの接続がプロキシ サーバによって妨げられている可能性があります。プロキシ サーバによってデータの転送速度が低下させられ、大きなラウンドトリップ遅延が生じたため、ユーザが Web 会議に参加できない可能性があります。

2つのコンピュータ アイコンの間に灰色のチェックマークが表示されている場合、Release 5.3 は Web 会議サーバに接続されていますが、次のいずれかの問題が存在します。

- だれもドキュメントを共有していない。
- ユーザが間違った会議の Web 会議に参加した。
- ユーザの Web ブラウザがサポートされていない。サポートされている Web ブラウザのリストについては、『[Release Notes for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3](#)』の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing End-User Requirements」の項を参照してください。

会議コンソールの状態の詳細については、[P.8-12](#) の「[会議コンソールの接続速度と接続状態](#)」を参照してください。

Web 会議の主催に関する問題

次のような場合、ユーザは Web 会議を主催できません。

- ユーザが持っているアクセス権がリスナーまたは参加者である。これらの会議コンソールアクセス権レベルで、ユーザは、プレゼンテーション、アプリケーション、およびホワイトボードを表示できますが、共有できません。
- ユーザが間違ったエンドポイントを使用してアプリケーションを共有している。
 - Windows システムのユーザは、会議コンソールまたは T.120 アプリケーションのいずれかを使用できる。
 - Macintosh システムのユーザは、会議コンソールを使用する必要がある。
 - Unix システムのユーザは、SunForum などの T.120 アプリケーションを使用する必要がある。
- ユーザが Internet Explorer を使用しており、Cisco MeetingPlace の Web 証明書を受け入れないことを選択した。
- ユーザの Java のバージョンが古い。ユーザのシステムの Java バージョンがサポートされていることを確認してください。詳細については、『[Release Notes for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3](#)』の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing End-User Requirements」の項を参照してください。

プレゼンテーション スライドに関する問題

プレゼンテーション スライドが元のスライドほどきれいに表示されない場合は、次の点に注意します。

1. プレゼンテーション スライドの外観を最適化するために、Microsoft PowerPoint が Web 会議サーバにインストールされていることを確認します。PowerPoint がインストールされている場合、Release 5.3 は PowerPoint をデフォルトのエージェントとして使用して、PowerPoint プレゼンテーションをスライドに変換します。PowerPoint がインストールされていない場合、Release 5.3 は独自の内部変換ツールを使用します。
2. Release 5.3 の内部変換ツールは、マシンの設定に依存するグラフィックス コンテキストを使用して、プレゼンテーションの画像を描画することに留意します。システムのグラフィックス コンテキストに使用できるカラーの数は、特に重要な制限要因です。たとえば、Release 5.3 を実行しているサーバのビデオ ドライバが最大 256 のカラーを表示するように設定されている場合、そのサーバで生成される画像は 256 のカラーに制限され、スライドの表示品質が低下します。
3. 企業のフォントと標準の Microsoft フォント (Microsoft PowerPoint フォントを含む) がすべて、Web 会議サーバにロードされていることを確認します。



ヒント

カラーと画像が複雑になるほど、更新が低速になります。更新速度を上げるには、背景のカラーなしで共有と表示を試みてください。

アプリケーション共有モードでのコラボレーションに関する問題

Web 会議のホストがコラボレーション用にドキュメントを開いたが、他の参加者が制御を取得できない場合は、制御を取得できない参加者が会議コンソールと T.120 アプリケーション (NetMeeting など) のどちらを使用しているかを調べます。

会議コンソールを使用してコラボレーションできない場合の対処方法

アプリケーション共有セッション中に [制御の取得] ボタンが表示されない場合は、次の原因が考えられます。

- Web 会議のホストが、コラボレーション用にドキュメントを開いていない。
- ドキュメントの制御を取得している参加者が、[制御の解放] ボタンをクリックしていない。別のユーザがコラボレーションするために、この操作が必要となることがあります。
- ユーザが講義形式の会議に参加しており、コラボレーションに適した会議コンソール アクセス権を持っていない。講義形式の会議では、プレゼンタ アクセス権を持つユーザだけが、ホストによって共有されている任意のドキュメントの制御を取得できます。

NetMeeting を使用してコラボレーションできない場合の対処方法

すべての参加者が同じリリースの NetMeeting を使用していることを確認します。Microsoft の Web サイトに、無料の NetMeeting アップグレードが提供されています。

添付と記録に関する問題



(注)

記録にアクセスする前に、必ず、会議が終了していることを確認してください。会議コンソールから会議を手動で終了するには、**[会議] > [会議の終了]** を選択します。会議のスケジュール担当者、システム管理者権限を持つユーザだけが、このメニュー オプションを使用して会議を終了できます。

会議の記録は、転送前に、指定の音声形式および同期された形式に変換されます。1 GB より小さいファイルの変換に最大 6 時間かかることがあります。1 GB を超えるファイルの変換には、最大 12 時間かかることがあります。

変換処理中は、「処理中 ...」という状態イメージが表示されます。音声サービスの変換プロセスは、他の Cisco MeetingPlace サービスよりも低い優先順位を持ちます。そのため、Cisco MeetingPlace の使用率がピークの時間帯には、音声ファイルの変換および転送がかなり低速になります。

問題が発生している場合は、次のチェックを行います。

- Replication Service (複製サービス) と音声サービスが動作していることを確認します。詳細については、[P.2-5 の「Cisco MeetingPlace Replication Service について」](#) および [P.2-6 の「音声変換サービスについて」](#) を参照してください。
- [会議のオプション] ページで、[記録の自動開始] パラメータを確認します。このパラメータが **[はい]** に設定されている場合は、2 人目の参加者が会議に参加すると、記録が自動的に開始されます。このパラメータが **[いいえ]** に設定されている場合は、電話機で #61 を押すか、会議コンソールで **[会議] > [記録の開始]** を選択して、参加者が記録を手動で開始する必要があります。
- MeetingTime の [Review] タブに移動します。会議を選択し、**[Attachments]** をクリックします。記録の添付の長さが 0 と表示される場合は、記録領域が予約されていますが、参加者が記録をオンにしていません。
- テスト会議をスケジュールして、音声変換処理をチェックします。このテストの成功または失敗によって、問題の原因に関する詳細情報が得られます。

テスト会議のスケジュール

- ステップ 1** Release 5.3 の Eventlog を開きます (Web 会議サーバのシステム トレイで Cisco MeetingPlace アイコンを右クリックし、**[eventlog]** を選択します)。
- ステップ 2** テスト会議をスケジュールします。会議に参加し、記録を開始します。
- ステップ 3** 数分後に会議を終了します (MeetingTime または会議コンソールで)。

ステップ 4 [Eventlog] ウィンドウで、次のアクティビティ パターンを確認します (ID とファイル名は例として表示されているだけです)。

```
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0B78) Information: Waiting for next conversion request
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0B78) Information: Received response from audio service for \\SERVER\C$\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv, result=1
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A00) Information: Conversion from WAV to WMA for C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.wav is done.
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A60) Success: Conversion from MPV to WAV for C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv is done.
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0DD0) Information: 08/13/2004 - 16:42 : Replication Service Request Completed. Count=4329
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpv2wav InputFile=C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336, MPVFormat = 0, GenerateHdr=0
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A60) Information: Conversion from MPV to WAV started for C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv.
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A60) Information: WaitTime is 21600000, based on size of 2528 and ConvTimeOutMultiplier of 0
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A60) Information: C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mp3
Fri Aug 13 16:42:39 2004 mpaudsvc (0x0A60) Information: C:\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0B78) Information: Submitting a request to audio service for \\SERVER\C$\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0B78) Information: GetNextRequestForProcessing: found request mpv=\\SERVER\C$\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv, nTries=0
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0DD0) Information: AddToQ: mpv=\\SERVER\C$\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv, nTries=0
Fri Aug 13 16:42:39 2004 MPDatSvc (0x0DD0) Information: DoConversion: mpv=\\SERVER\C$\Program Files\Cisco Systems\MPWeb\Meetings\1296\chimes_4336.mpv, conferencenum=1296, attrefid=20
```

外部 Web 会議サーバから添付またはプレゼンテーションにアクセスできない場合の対処方法

外部 Web 会議サーバから添付またはプレゼンテーションにアクセスできない場合は、次の点を確認します。

- 外部 Web 会議サーバ上の Cisco MeetingPlace Replication Service が有効で、動作していること。
- 内部 Web 会議サーバから外部 Web 会議サーバに GUIDS.reg ファイルをコピーしたこと。詳細については、P.5-15 の「内部 Web 会議サーバから外部 Web 会議サーバへの GUIDS のコピー」を参照してください。

他のファイル添付に関する問題

会議が別の Cisco MeetingPlace アプリケーションまたはクライアント (Cisco MeetingPlace for Outlook や MeetingTime など) からスケジュールされた場合は、Cisco MeetingPlace Audio Server システムから Web 会議サーバに添付をダウンロードする必要があります。添付のダウンロード中は、「処理中...」という状態が表示されます。

ファイルを添付として追加すると、そのファイルは一時的に Web 会議サーバの TEMP ディレクトリに格納されます。このディレクトリは、通常、C:\temp にマップされています。何らかの原因でこのフォルダにアクセスできない場合、またはドライブがいっぱいである場合は、ファイル添付操作に失敗します。

Windows Media Server に関する問題

Windows Media Server が Release 5.3 と同じ Windows マシンにインストールされていない場合は、マウント ポイントの場所が正しいことを確認します。正しくない場合は、会議の記録が正常にストリームしない可能性があります。詳細については、Windows のヘルプを参照してください。

ユーザに記録が聞こえない場合の対処方法

Secure Socket Layer (SSL) がオンになっている場合に、ユーザが Windows Media 形式の音声の記録および添付を聞こうとすると、問題が発生することがあります。この問題を解決するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 Windows Media Player の [ツール] メニューで、[オプション] > [形式] を選択します。
 - ステップ 2 [Windows Media ファイル (asf)] をクリックしてオフにします。
 - ステップ 3 [OK] をクリックし、記録または添付を再び再生します。問題が解決されない場合は、[P.9-16 の「添付と記録に関する問題」](#)のチェックを行います。
-

WebConnect に関する問題

WebConnect は、ユーザが Cisco MeetingPlace リソースを確実に使用できるようにする自動ロールオーバー機能です。この機能の詳細については、第7章「Cisco MeetingPlace Web Conferencing と WebConnect」を参照してください。

ユーザ グループが見つからない場合の対処方法

ロールオーバー マップを割り当てるときに、探しているユーザ グループが見つからない場合は、P.7-6の「ユーザ グループのアップデート」に従ってユーザ グループをアップデートしたことを確認します。アップデートすると、グループにアクセスしようとするときに、Cisco MeetingPlace データベースと SQL Server データベースの両方の情報が同期されています。

ロールオーバーした会議に添付を追加できない、またはユーザを招待できない場合の対処方法

WebConnect では、添付や招待者のロールオーバーをサポートしていません。ロールオーバーした会議に添付または招待者を追加するには、スケジューリング Cisco MeetingPlace Audio Server システムに接続されている Web 会議サーバに移動し、そこから添付または招待者を追加します。

WebConnect 関連の警告メッセージが表示される場合の対処方法

Warning:[22894] No rollover map or rollover map empty for the user.

Warning:[22897] Operation is tried on the local site only.

Cisco MeetingPlace Web Conferencing のホームページにアクセスしたときに上記の警告メッセージが表示される場合は、ユーザが、ロールオーバー マップの割り当てられていないグループに属しています。WebConnect 機能では、すべてのユーザをグループに割り当て、すべてのグループをロールオーバー マップに割り当てる必要があります（ロールオーバー マップに1つのサイトしか含まれない場合でも同様です）。ロールオーバー マップの設定手順については、P.7-9の「ロールオーバー マップの設定」を参照してください。

WebConnect に関連するエラー メッセージの対処方法

エラーメッセージ Cannot login to site X with hostname X.

上記のエラーメッセージが表示される場合は、次の2つの手順を実行します。

- ステップ 1 Internet Services Manager から、そのホスト上で Web 会議サーバが起動されていることを確認します。
- ステップ 2 Windows の [Services] コントロールパネルで、ホスト上の Cisco MeetingPlace Web Conferencing Service が開始されていることを確認します。

エラー メッセージ The user does not exist.

上記のエラー メッセージが表示される場合は、ユーザのプロファイル情報（特に、ユーザ ID、パスワード、ユーザ グループ、および会議のカテゴリ（使用されている場合））がユーザのロールオーバー マップ内のすべてのサイトに存在することを確認します。Cisco MeetingPlace Directory Services がインストールされていない場合は、『*Administrator's Guide for Cisco MeetingPlace Audio Server Release 5.3*』の「Importing User Profile and Group Information」の項で、手動のプロファイル同期化手順を参照してください。詳細については、シスコのサポート担当者にお問い合わせください。

セキュリティ警告ウィンドウについて

Release 5.3 は、署名付きの Java アプレットを使用します。そのため、事前に Cisco MeetingPlace Web Conferencing のセキュリティ証明書を受け入れていない場合は、Web 会議に参加しようとする、2 つの [セキュリティ警告] ウィンドウが表示されます。この結果、高レベルのセキュリティを実行しているブラウザでの問題が回避されます。

Internet Explorer のユーザは、[セキュリティ警告] ウィンドウが表示されたら、[Cisco Systems からの内容を常に信頼] をクリックしてオンにし、[はい] をクリックする必要があります。この操作を行うと、今後このウィンドウが表示されなくなります。

Netscape Navigator のユーザは、Java の [セキュリティ] ウィンドウが表示されたら、[この決定を保存する] をクリックしてオンにし、[許可] をクリックする必要があります。この操作を行うと、今後このウィンドウが表示されなくなります。

セキュリティ警告を受け入れなかった場合

セキュリティ警告を受け入れなかった場合は、Release 5.3 の機能を完全には利用できません。

- 最初のセキュリティ警告ポップアップを受け入れないと、「共有中」機能が無効になります。現在プレゼンテーションまたはアプリケーションを共有しているユーザの名前が表示されずに、「なし」と表示されます。
- 2 番目のセキュリティ警告ポップアップを受け入れないと、いくつかの追加機能が無効になります。つまり、システム トレイに Cisco MeetingPlace アイコンが表示されない、[共有] メニューが機能しない、アプリケーション共有アイコンが機能しない、会議コンソールからログをプルしようとする、という状態になります。

セキュリティ証明書を最初に拒否した後に受け入れる方法

Cisco Systems, Inc. のセキュリティ証明書を拒否し、その後受け入れる場合は、ブラウザを終了して Web 会議に再び参加します。セキュリティ証明書を受け入れるためのオプションが表示されない場合は、次の手順を実行します。

- Internet Explorer のユーザ : [ツール] > [インターネット オプション] > [コンテンツ] > [証明書] > [発行元] を選択し、証明書 [Cisco Systems, Inc.] を削除します。
- Netscape Navigator のユーザ : [Communicator] > [ツール] > [セキュリティ情報] > [Java/JavaScript] を選択し、証明書 [Cisco Systems, Inc.] を削除します。
- Netscape Navigator のユーザと Internet Explorer のユーザの両方 : ブラウザを終了し、Web 会議に再び参加します。

Secure Socket Layer のセキュリティ警告が表示される場合の対処方法

セキュリティ警告 Name does not match the certificate.

会議に参加しようとするときに上記のセキュリティ警告が表示される場合は、この Web 会議サーバを正しく定義していない可能性があります。

-
- ステップ 1 システム管理者レベルのユーザ ID とパスワードで Cisco MeetingPlace Web Conferencing にサインインし、**[Admin] > [Web Server Properties]** をクリックします。**[MeetingPlace Web Administration]** ページが表示されます。
 - ステップ 2 ページの下部で、変更する Web 会議サーバの名前をクリックします。このサーバの情報が、ページの上部に表示されます。
 - ステップ 3 **[Host Name]** に、Web 会議サーバの FQDN を入力します。このフィールドに Web 会議サーバのホスト名だけが設定されている場合は、FQDN、つまり *hostname.domain.com* の形式に変更します。この値は、SSL 証明書内の値と一致している必要があります。
 - ステップ 4 完了したら、**[Submit]** をクリックします。
-

匿名接続経由のアクセスを制限する方法

Release 5.3 にはエンタープライズセキュリティが組み込まれているため、追加の手順は不要です。

Microsoft システムのアップデートまたはパッチと Cisco MCS について

Microsoft から直接 Cisco MCS にオペレーティング システムのアップデートやパッチを適用しないでください。シスコは、このようなアップデートやパッチがアプリケーションに適合することを確認してから、お客様が入手できるようにしています。お客様は、

http://www.cisco.com/warp/public/779/largeent/software_patch.html からサインアップして、入手可能なアップデートに関する通知を受け取ることができます。

次の URL には、MCS の追加のテクニカル サポート情報が提供されています。

http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/browse/psp_view.pl?p=Hardware:MCS_7800&viewall=true

IIS 内のファイルの削除

IIS 内のデフォルトの SMTP 仮想サーバまたは Administration Web サイトを削除しても、Cisco MeetingPlace Web Conferencing の Web ページに影響はありません。

images、_private、_vti_cnf、_vti_log、_vti_pvt、_vti_script、_vti_txt など、wwwroot のサブフォルダはすべて、Microsoft FrontPage から提供されます。これらのサブフォルダを削除すると、サーバにパブリッシュするときに Microsoft FrontPage で問題が生じる可能性があります。

Parent Paths は、デフォルト Web サイト、MPWeb 仮想ディレクトリ、および cgi-bin 仮想ディレクトリで有効です。Parent Paths を有効にすると、匿名ユーザが「..」を使用して、現在のディレクトリから親に移動できます。このようなユーザがディレクトリ ツリーを横断できないようにするには、この機能を無効にします。

NetMeeting の使用時にファイルのダウンロード ウィンドウを表示しないための設定

NetMeeting を使用して Web 会議に参加する場合、ファイルをディスクに保存するか、現在の場所から開くかを尋ねるウィンドウが表示されることがあります。このファイルは、「SpeedDial」ファイル (.cnf) と呼ばれ、ユーザを Web 会議に接続する役割を担っています。

SpeedDial ファイルを自動的に開くよう Web ブラウザを設定し、[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されないようにすることをお勧めします。[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されたら、次の手順を実行して、今後このウィンドウが表示されないようにします。

ステップ 1 [ファイルのダウンロード] ウィンドウで、[この種類のファイルであれば常に警告する] をクリックしてオフにします。

ステップ 2 [現在のロケーションからこのファイルを開く] を選択し、[OK] をクリックします。NetMeeting が開き、Web 会議に接続されます。

ファイルをディスクに保存することを選択した場合に Web 会議に参加するには、ファイルがシステムにダウンロードされた後、そのファイルをダブルクリックします。



ヒント Web 会議に参加する前に、[ファイルのダウンロード] ウィンドウが表示されないよう Web ブラウザを設定することもできます。詳細については、P.8-22 の「Netscape Navigator における不明なファイルタイプの設定」または P.8-22 の「Internet Explorer における不明なファイルタイプの設定」を参照してください。

NetMeeting にアクセスしようとしたときにテキスト ファイルが表示される場合の対処方法

[NetMeeting の使用] をクリックしたときに NetMeeting ウィンドウではなくテキスト ファイルが表示される場合は、NetMeeting がインストールされていない可能性があります。NetMeeting がインストールされていない場合は、Microsoft の Web サイトからフリーバージョンをダウンロードします。

NetMeeting の共有ボタンが無効である場合の対処方法

Windows クライアントを使用しており、NetMeeting の [共有] ボタンが無効であるためにドキュメントを共有できない場合は、NetMeeting クライアントのデフォルト設定の変更が必要となる場合があります。一部の Windows オペレーティング システムでは、出荷時に NetMeeting の共有機能がオフになっています。

ステップ 1 共有機能をオンにするには、NetMeeting の [ツール] メニューで [共有する] を選択します。

ステップ 2 完了したら、システムを再起動します。

パスに拡張文字が含まれるディレクトリに NetMeeting がインストールされている場合も、プログラムの共有が機能しないことがあります。

Cisco MeetingPlace Web Conferencing から NetMeeting を起動できない場合の対処方法

講義形式の会議に参加しており、会議コンソールの下部に [NetMeeting の使用] リンクが表示されない場合は、会議でドキュメントを共有するための適切な会議コンソール アクセス権を持っていない可能性があります。講義形式の会議では、プレゼンタ アクセス権を持つユーザだけが、ホストによって共有されている任意のドキュメントの制御を取得できます。

NetMeeting の使用時にプログラムの種類を尋ねられる場合の対処方法

[NetMeeting の使用] リンクをクリックしたとき、使用するプログラムを尋ねるウィンドウが表示される場合は、NetMeeting アプリケーションの場所を指定して、[OK] をクリックします。NetMeeting がインストールされていない場合は、Microsoft の Web サイトからフリーバージョンをダウンロードします。

NetMeeting のエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ The other person did not allow you to join the meeting.

[NetMeeting の使用] リンクをクリックしたときに上記のメッセージが表示される場合は、NetMeeting 3.01 でセキュリティ設定を無効にする必要があります。

ステップ 1 NetMeeting で、[ツール] > [オプション] > [セキュリティ] を選択します。

ステップ 2 [セキュリティ] タブで、次のボックスをオフにします。

- セキュリティで保護された受信通話を受け取ります。会議中でないときはセキュリティで保護された通話のみ受け取ります。
- すべての送信通話をセキュリティで保護します。

エラーメッセージ There was a problem connecting to the directory server. You may not be connected to the network or the server may be busy.

NetMeeting 会議に参加しようとしたときに上記のメッセージが表示される場合は、起動時にディレクトリ サーバにログオンしないよう NetMeeting を設定し直す必要があります。

このメッセージが表示されても、Web 会議に参加できます。

ステップ 1 NetMeeting の [ツール] メニューで、[オプション] を選択します。

ステップ 2 [オプション] ウィンドウの [ディレクトリ設定] で、次のボックスがオフであることを確認します。

- NetMeeting 開始時にディレクトリ サーバにログオンする
- NetMeeting 開始時にディレクトリ リストを更新する

Microsoft Internet Explorer のエラー メッセージの対処方法

エラー メッセージ Internet Explorer Script Error: Object doesn't support this property or method.

Cisco MeetingPlace Web Conferencing でリンク間をナビゲートしているときに上記のエラー メッセージが表示されるが、[OK] をクリックすると機能が失われない場合は、新しいバージョンの Internet Explorer が必要である可能性があります。

この問題を解決するには、ブラウザを新しいバージョンにアップグレードします。サポートされている Web ブラウザのリストについては、『[Release Notes for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3](#)』の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing End-User Requirements」の項を参照してください。または、ブラウザの [ツール] メニューで、[インターネット オプション] > [詳細設定] を選択し、[スクリプトのデバッグを使用しない] オプションをオフにします。

エラー メッセージ Internet Explorer cannot open the Internet site javascript:top.GetPast[]. The protocol specified in this address is not valid. Make sure the address is correct, and try again.

Release 5.3 の使用時に上記のエラー メッセージが表示される場合は、リンクをクリックして無意識のうちに別の場所にドラッグアンドドロップしてしまった可能性があります。Release 5.3 のスクリプトでは、ほとんどのブラウザに備わっているドラッグアンドドロップ機能がサポートされていません。

エラー メッセージ Access to the specified device, path, or file is denied.

Web 会議に参加しようとしたときに上記のエラー メッセージが表示される場合は、Internet Explorer と Netscape Navigator の両方がインストールされており、Netscape ブラウザから SpeedDial プラグインが削除された可能性があります。このプラグインを削除すると、システムのレジストリから SpeedDial 設定が削除されるため、Internet Explorer で Web 会議サーバにアクセスできなくなります。

この問題を解決する最も簡単な方法は、NetMeeting を再インストールすることです。再インストールにより、レジストリに正しい設定が戻ります。

警告メッセージ An ActiveX control on this page is not safe. Your current security settings prohibit running unsafe controls on this page. As a result, this page may not display as intended.

Web 会議に参加しようとしたときに上記の警告メッセージが表示される場合は、次のような状況でないかどうか確認します。

- [スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行] が無効である。これを変更するには、[インターネット オプション] > [セキュリティ] > [レベルのカスタマイズ] を選択します。[スクリプトを実行しても安全だとマークされている ActiveX コントロールのスクリプトの実行] オプションを [有効にする] または [ダイアログを表示する] に設定します。
- JVM が破損している。この場合は、JVM を再インストールします。

Java アプレットがダウンロードされているというメッセージが表示される場合の対処方法

Web 会議に参加しようとしたときに、Java アプレットがダウンロードされているというポップアップメッセージが表示される場合は、次の手順を実行します。

ステップ 1 ブラウザを閉じ、C:\Temp ディレクトリに移動します。

ステップ 2 Cisco MeetingPlace フォルダを削除して、Web 会議に再び参加します。

Microsoft Internet Explorer での Java に関する問題

Release 5.3 では、特定のバージョンの Microsoft JVM または Sun JRE が必要です。サポートされている Java 対応ブラウザのリストについては、『[Release Notes for Cisco MeetingPlace Web Conferencing Release 5.3](#)』の「Cisco MeetingPlace Web Conferencing End-User Requirements」の項を参照してください。

Internet Explorer でシステムの JVM のバージョンを確認するには、Java コンソールを使用するか、DOS プロンプトで **jview** と入力します。JVM のバージョンが、使用している Internet Explorer のバージョンの要件を満たしていない場合は、www.windowsupdate.com から Windows Update を実行します。

Java 無効クライアントについては、[P.8-25](#) の「[Java 無効クライアントについて](#)」を参照してください。

Java コンソールからの Java バージョンの確認

-
- ステップ 1 Web ブラウザで、[表示] > [Java コンソール] を選択します。
 - ステップ 2 Java コンソールが開いたら、テキストの最初の行にある Java のバージョン番号を探します。
 - ステップ 3 Java コンソールが有効でない場合は、[ツール] > [インターネットオプション] > [詳細設定] を選択します。[Microsoft VM]の設定で、[Java コンソールの使用]を選択し、ブラウザを再起動します。
-

DOS プロンプトからの Java バージョンの確認

-
- ステップ 1 ユーザのシステムで、DOS プロンプトに移動し、**jview** と入力してから、**Enter** キーを押します。
 - ステップ 2 Java の情報が表示されたら、テキストの最初の行にあるバージョン番号を探します。
-

Netscape Navigator での Java に関する問題

Netscape Navigator でシステムの Java プラグインを確認する方法は、2 つあります。1 つは [タスク] メニューから、もう 1 つは [ヘルプ] メニューから確認する方法です。

タスク メニューからのシステムの Java プラグインの確認

Netscape Navigator でシステムの Java プラグインを確認する方法は、2 つあります。

ステップ 1 Netscape Navigator で、[タスク] > [ツール] > [Java コンソール] を選択します。Java コンソールが表示されます。

ステップ 2 Java コンソールが淡色表示される場合は、Release 5.3 の実行に必要な Java コードがありません。

ヘルプ メニューからのシステムの Java プラグインの確認

ステップ 1 Netscape Navigator で、[ヘルプ]> [プラグインについて]を選択します。リストをスクロールします。

ステップ 2 Java プラグイン エントリのリストが表示されない場合は、Release 5.3 の実行に必要な Java コードがありません。

■ Netscape Navigator での Java に関する問題